

県民の皆さんの取組状況

順不同

取組団体名	取組事例
JA和歌山中央会	<ul style="list-style-type: none"> ★ JA女性役員研修会の開催(平成28年8月) <ul style="list-style-type: none"> ・ JA女性役員(22名)参加、実践報告、講義、意見交換 ★ 県女性会と中央会・連合会役員との対話集会の開催(平成28年8月) <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性会役員等参加、女性会活動、JA事業他 ★ JA運営等についての学習会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県JA女性組織連絡会議・リーダー研修において毎回開催(年5回程度) ・ JAにおける学習会開催促進 ★ JAへの女性参画促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の運営参画県域指標にもとづく参画促進 正組合員加入:50% 総代への就任:30% 理事への登用:15%
ウイズ・ア・スマイル	<ul style="list-style-type: none"> ★ 御坊市の男女共同参画を推進するため、ボランティアで市民が協力できることを、考え・行動しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 月1回(第3火曜日)の定例会を実施。会員、市民の意見の共有、情報交換 ★ 行政、他団体への協力・連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権講演会や講習、イベントなどの参加協力 和歌山県：みんな、たいせつ PAPAAMOパパにもできる愛され収納講座 ボランティアフォーラム 御坊市：人権講演会「パパの子育て地域力」「エスペランサ トーク&コンサート」 ファミサポ サポート会員研修会 りいぶる：はじめての男女共同参画エキスパンダー養成講座(初級編) 御坊市社協：ボランティアフォーラム ★ 御坊商工祭ブース出展・啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ オリジナルパンフレットの配布・手作り品の販売 ★ 勉強会「大切にしよう、心とからだ」～3歳から始める性教育～ <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師に徳永桂子さんをお招きし、会員向け勉強会を実施 ★ 男女共同参画週間(6月)街頭啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・ オークワロマンシティでの街頭啓発活動。メモ帳・ウェットティッシュの配布(県への協力) ★ 男女共同参画推進事業・勉強会 <ul style="list-style-type: none"> 「考えよう、これからの子育て～えがお咲く、ごぼう・ひだかのこどもたち～」 ・ 講師に吉田大樹さんをお招きし、一般参加者31名を含んだ地域の子育てに関するグループワークを開催。御坊市長、他町行政関係者や現在育児中の母親、企業経営者などが参加し、様々な視点から育児について話し合う機会をつくった。 ★ 女性への暴力をなくす運動(11月)で啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーHIROでの街頭啓発活動。入浴剤の配布(県・市への協力) ★ 公開講座「こどもとのコミュニケーションスキルアップ講座～子どもの話を聞いていますか～」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師にHML(ハッピーママライフ)をお招きし、CAPおとなワークを開催。会員、一般参加者含め13名が参加 ★ 勉強会「ライフマネーセミナー」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師にファイナンシャルプランナーをお招きし、子育て時期から老後までにかかるお金について学ぶ。会員向け勉強会 ★ 勉強会「女性と子どもへのDV防止 DVD上映会」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 御坊市出張出前講座を活用し、アニータ・キリ監督作品「パパ、ママをぶたないで」を上映。会員、一般含め大人7名と子ども4名が参加

■ 第4章 県民の皆さんの取組状況 ■

取組団体名	取組事例
ウイズ・ア・スマイル (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ★ 女性応援「Smileカフェ」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・他団体「古民家コミュニティ」との共催。プロの美容専門家をお招きし、主に育児中の母親対象に社会復帰時に役立つ社会人としての身だしなみを学んだ。あえて託児はつげずに子供と同じ空間で学べる場を提供。学んだあとは講師、参加者が共に食事をしながら交流を深め、情報交換の時間もつくれた。会員、一般参加を含め大人17名とその子供 ★ 御坊市男女共同参画推進懇話会に委員として協力 ★ 御坊市ボランティア連絡協議会意見交換会に参加 ★ 御坊市人権ヒアリング参加協力 ★ 御坊市地域見守りネットワークの実施への協力 <ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の見守りボランティア活動
ウィメンズスペース*花	<ul style="list-style-type: none"> ★ DV被害者の電話相談を受ける(月2回) ★ DV被害者支援ネットワーク会議出席 ★ 性暴力被害についての講座受講
ウィメンスタディズ熊野	<ul style="list-style-type: none"> ★ 県主催男女共同参画週間の街頭啓発参加 ★ 県主催DV被害者支援ネットワーク会議出席(於:和歌山市、新宮市) ★ DV防止、人権、子育て支援等の講師派遣(講師:村上 恵美子) <ul style="list-style-type: none"> ① 県立新翔高校2年生「ストーカー、デートDV防止講座」 ② 県教育委員会主催「放課後子ども総合プラン研修会」(於:岩出市) ③ 県教育委員会主催「放課後子ども総合プラン研修会」(於:上富田町) ④ 緑丘中学校全学年「ストーカー、デートDV防止講座」 ⑤ 新宮市社会福祉協議会「人権講座 リスペクト アザース」 ⑥ 新宮市消防署「DV防止講座」 ⑦ 新宮市立神倉小学校6年生「デートDV防止講座」 ★ 和歌山県人権施策推進審議会、新宮市男女共同参画プラン策定委員会、新宮市人権尊重委員会、新宮市女性人権推進協議会に参加 ★ 日本女性会議出席(於:秋田市) ★ 月一回の定例会:会員及び地域住民との勉強会、情報交換 ★ 他団体との交流:くまのWAN(熊野市)、あったカフェ(串本町)等
つばさの会・和歌山	<ul style="list-style-type: none"> ★ 年次定期総会にあわせ、当会会員の柳岡克子さんに、ご自身の障害をテーマに講演をしていただいた他、同じく会員で那智勝浦町在住の坂本和美さんと岩本ひろ子さんから、2011年夏の豪雨災害からの復興と今後の課題についてお話をいただきました。(4月23日) ★ 和歌山市にあるサービス付き高齢者住宅「紀風苑」にて行われたイベント(『K's garden Cafe』)に出展しました。(5月1日) ★ 当会が主催するイベント『おしゃべりカフェ』の第8弾として、藤本眞利子県議・松下やす子田辺市議会議員をゲストに、『女性に聞こう! 「女性の政治参加について」』を田辺市生涯学習センターで開催しました。(7月24日) ★ 『おしゃべりカフェ』の第9弾として、和歌山県男女共同参画センター所長山中浩子さんをお招きし、『女性活躍推進についての県の取り組み』を和歌山市りいふる会議室で開催しました。(8月27日) ★ 「人権フェスタ2016」(於:ビッグホール)に参加し、パネル展示とエコ石鹸づくり体験を実施しました。(11月19日) ★ 「つばさの会・和歌山地域連携事業」として、DVD(『ドバーばばあ〜織姫たちの挑戦』)の鑑賞会と、それに続く「ちょこっとおしゃべり会」を実施しました。(於:橋本市教育文化会館、11月20日) ★ みなべ町で春の親睦会と南部梅林の観察会を実施しました。(2月25日) ★ 年間二回発行した会報(『ねっとわーく』)を通じ、会員の皆さんに会の状況報告や各種告知をおこないました。
公益社団法人和歌山県看護協会	<ul style="list-style-type: none"> ★ 看護職員の定着促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ナース相談窓口(土、日、祝日を除く毎日、看護研修センター:2496件) ・ナースお仕事相談(月12回、ハローワーク橋本・和歌山・海南・湯浅・御坊・田辺、実施回数:136回、延べ来所者:101名) ★ 「看護の心」普及事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・看護の日記念事業(5月7日講演、健康チェック、ナース体験:延べ250名)

■ 第4章 県民の皆さんの取組状況 ■

取組団体名	取組事例
公益社団法人和歌山県看護協会 (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ・1日看護体験(7月～8月 県内高校生:536名、県内病院:52施設) ・1日まちの保健室(県内8か所で健康チェック:1029名) ★ 介護・福祉施設への出前授業(県内3か所で実施) ★ 潜在看護職復職支援研修 <ul style="list-style-type: none"> ・講義、技術演習、病院実習、訪問看護ステーション実習6日コース:25名(17名再就業) ★ セカンドキャリア支援 <ul style="list-style-type: none"> ・セカンドキャリア研修(看護職のセカンドキャリア支援:25名参加) ・復職支援コーディネーターとしてナースのお仕事相談:23名 ★ 看護職のワークライフバランス推進ワークショップ事業 <ul style="list-style-type: none"> ・WLB推進ワークショップ(9月13・14日、看護研修センター 2日間:延べ94名参加) ・WLBフォローアップワークショップ(1月27日、看護研修センター:47名参加) ★ 思春期教育として出前授業 <ul style="list-style-type: none"> ・助産師による思春期保健指導 高積中学校:181名参加 ★ 地域保健啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・「まちの保健室」事業の実施:延べ422名参加 ・向陽高校にて健康チェック、看護のお仕事相談:126名 ・和歌山信愛女子短期大学にて健康チェック:125名 ・和歌山刑務所矯正展にて健康チェック:106名 ★ 禁煙対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・世界禁煙フォーラム2016、全国禁煙アドバイザー育成講習in和歌山に参加
特定非営利活動法人 和歌山eかんにい	<ul style="list-style-type: none"> ★ 総会記念講演会として「子どもたちの未来(あす)を支えたい～こ・はうすの実践から～」と題し、こどもの生活支援ネットワーク こ・はうす事務局の馬場潔子氏の講演会を開催。(6月26日) ★ 12月3・10・18・25日の4回にわたり、エンパワー・エンカレッジ研修会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・「ココロの女子力UP!講座 アサーティブを身につけよう♪ 明日、笑顔のワタシに会うために」と題して、アサーティブ講座を開催。(赤い羽根助成金事業) 特定非営利活動法人アサーティブジャパン谷水美香さんを講師に、アサーティブのスキルを学んだ。 ★ 子育て応援講座として「わっしょい! 子育て」を開催。幼児教育研究家の熊丸みつ子さんを講師に、親子で参加するイベントを開催。(2月19日) ★ 性的少数者の理解促進として、「セクシュアルマイノリティのこと、聞いてみよう話してみよう」を開催。LGBTと愉快な仲間たち代表の安西美樹さん、特定非営利活動法人チーム紀伊水道副理事長の津村雅穂さんを講師に、講義と交流会を行った。(3月26日) ★ 平成22年4月～現在も継続中。 県男女共同参画センターりいびるの一部事業を受託し、男女共同参画推進のための事業を遂行中。
特定非営利活動法人 きのくに子どもNPO	<ul style="list-style-type: none"> ★ パパの子育て支援 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てパパの集まり(イクメンPaPaの会)の会議を定期的に行き、パパ主催の企画を立案したり、子どもたちの遊びの企画の時に、主体的にかかわりを持てるように準備したり「遊び」を通じて子育てに積極的にかかわる父親を増やす活動を継続して行っている。 ・28年度は自主企画として、チャンバラあそび、親子運動会を開催し運動を通して家族、子どもとのきずなを深める活動を行った。ウォークラリーをはじめ、親子キャンプ、秋祭り、イメージ遊び等きのくに子どもNPO主催の様々な行事へスタッフとして積極的に取りこんでいる。 ・ソフトバレーボール大会や外遊びを通じて次世代の親になる若い青年・中高生ともつながり、世代間交流を積極的に行っている。 ・その他、「風揚げ大会」「梅原プレーパーク」などでの活動 ・コマ、ベーゴマを中心に遊びのリーダーとして、子どもに遊びを伝授している。集団遊びも行っている。また参加した父母が「遊び」を楽しめるように、コマや竹馬を教えている。

取組団体名	取組事例
<p>特定非営利活動法人 きのくに子どもNPO (つづき)</p>	<p>★ 「子どもの生活支援ネットワーク こ・はうす」 支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きのくに子どもNPO会員と地域の有志（大学教員、学生ボランティア、調理ボランティア）の方が協力して、「子どもの生活支援ネットワーク こ・はうす」を立ち上げた。子どもの貧困問題に取り組んでいる。特に地域で孤立しがちな「母子家庭・父子家庭」の支援を行っている。 ・現在週1回(木曜日)に「無料学習支援とみんなでばんごはん」を食べる居場所を開設。 ・幅広く地域に支援を呼びかけ、行政にも施策の必要性を働きかけている。 <p>★ 地域子育て支援拠点事業 「ほっとルームぐるんぱ」の開設。(和歌山市委託事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進。 ・子育てコーディネーターによる子育て相談・援助の実施。地域の子育て関連情報の提供。 ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 ・ぐるんぱのママの会「ほっとちゃん」。ぐるんぱに来ているママたちがぐるんぱを親たち自分自身の居心地の良い場所にしていけるよう自主的な活動を行っている。 ・「ぐるんぱメール」、ママ・パパの投稿による「TWEET」発行。ぐるんぱママ講師による「小さな手づくりの会」など、子育て中のママをエンパワメントするための事業。 ・わらべうた、かみしばい、遊びの会、舞台鑑賞などにより、子どもが豊かに育つために「大事なこと」を具体的に若い世代に伝えている。 ・そと遊び、水遊びを取り入れ、ネットやスマホ環境から離れて、五感を使って自由に遊ぶ楽しさや気持ちよさを体感できるよう取り組んでいる。 <p>★ 和歌山市ファミリー・サポート・センター(和歌山市委託事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てを援助してほしい人と子育てをサポートしたい人をコーディネートし、地域で安心して子育てできるようサポートする会員組織の運営。(平成29年3月末、全会員数1397人) ・病児・緊急対応強化事業 子どもの病時病後時の保育に対応している。 ・ファミリー・サポート・センターは一時保育をコーディネートする役割だけでなく、子育て家庭のセーフティーネットとしての役割が大きくなっている。地域での相互援助活動の枠に入りきらない継続的援助、専門的な援助が必要なケースが増えている。行政機関や民間の支援施設等と連絡を取りながら可能な支援情報を提供するなどして、相談を受けている。 ・講習会の開催(年3回)。会員登録(スタッフ会員・提供会員・両方会員)を希望する市民に対し、子育て支援の意義や役割を理解し、具体的スキルを学ぶ講座(24時間)を実施。サポートする会員の増加に努めている。講座は、子育て中の母親の受講も増えており、受講をきっかけに仕事や社会的活動を始める人もいて、母親のエンパワメントにつながっている。 ・交流会 サポートする会員のスキルアップのため、交流会を実施。普段顔を合わせることの少ない「スタッフ会員」「提供会員」が活動内容について気になることを話したり、意見交換する機会を作っている。 ・学習会 市民向けに、よい文化に触れる機会として講演会、音楽会などを開催。子育て中の母親、父親、地域の人たちにファミリー・サポート・センターを知ってもらうきっかけにもなっている。 ・地域交流会 地域にファミサポを広め、会員同士交流できる場として市内6か所「ファミサポキャラバン」を開催。 ・「広報誌」、「会員交流紙」、インターネットでの発信等ファミリー・サポート・センターをより多くの人に知ってもらうための広報活動を行っている。

■ 第4章 県民の皆さんの取組状況 ■

取組団体名	取組事例
特定非営利活動法人 きのくに子どもNPO (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ★ ベビーシッター「きのくにっこ」「きのくにっこmini」 <ul style="list-style-type: none"> ・小さい子どもを持つ家庭を支援するために、必要に応じて一時的保育を提供している。 ・母親、女性対象の講座や勉強会、演奏会などの時の一時保育（グループシッター）を受けている。 ★ 「養育支援訪問事業・家事援助業務」（和歌山市）「和歌山市母子家庭及び寡婦、父子家庭生活支援員派遣事業委託」を受託。支援が必要な子育て家庭に対して、支援員を派遣し、行政との協力の下に子育て家庭を支えている。 ★ 児童発達支援 親と子の広場・アン、ポコ <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長・発達に不安のある乳幼児を対象に、リズム遊びお絵かき、外遊びや散歩など遊びを楽しみながら五感（見る・聞く・触れる・におう・味わう）を刺激し、丈夫な体作りと豊かな発達を保障することを目的に活動している。保護者同士がつながりあえるよう親の会、学習会を行っている。併行通所もおこなっている。 ・保護者で実行委員会をつくり、遠足や製作、ごっこあそびなどの行事を行っている。自分たちがしたい事、子どもが楽しめることなどそれぞれが考え、会議を重ねている。みんなで作り上げたことで達成感を感じ、自信となり、エンパワメントにつながっている。 ★ 子どもの居場所「チャティーもあ」 <ul style="list-style-type: none"> ・毎週土曜日に子どもの居場所を開催。絵本の読み聞かせ、読書活動、アート制作、外遊びと様々な活動を行っている。土曜日も仕事している家庭の子どもの「学童保育」としての役割も持っている。子どもたちは話し合いをしてやりたいことを決め、実行している。集団での活動が子どもたちの自主性や協調性を育てている。プレーリーダーが丁寧にかかわることで、お互いに違いを認め合い、尊重し合うことができるような集団となることをめざして活動している。 ★ 長期休暇学童保育事業 「あみハウス」 <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに家で留守番している子どもを対象に、長期休暇にしかできない遊びや集団での遊びを体験し、仲間づくりができるような学童保育を実施。仕事で一日家を空けている保護者が安心して子どもを預けられる場を提供した。 ★ 子どもに関わる人たちの学習交流、人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・「幼児」、「小学生」、「中高生」と子どもの年齢別の親の会を開催。その時の保護者の関心をテーマにして学習交流会を開催。本音で語り合える関係を作り、親同士つながり、お互いエンパワメントしていける場になっている。
特定非営利活動法人 のびのびキッズ海南	<ul style="list-style-type: none"> ★ 学童保育室7カ所で実施(海南市受託事業) ★ 県、市の団体から依頼された一時保育事業 <ul style="list-style-type: none"> ・5日:子ども45人 ★ 個人から依頼された一時保育 <ul style="list-style-type: none"> ・2日:子ども2人
特定非営利活動法人 市民の力わかやま	<ul style="list-style-type: none"> ★ IT講習等事業：男女が共同で参加できる事業等を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ塾（1名または2名を対象にした個別PC指導） ・初心者向けIT講習会の実施（10名程度の小規模PC教室）の実施 ・在宅で学習できるeラーニング講座の実施 ・在宅就業できるよう養成したテレワーカーを対象に、テープ起こし・データ入力・イベント入力・HP作成などのテレワーク事業を実施 ★ 事務局職員のフレックスタイム制度の導入 ★ 「わかやまイベントボード」で男女共同参画推進のための講演会、講座等のイベント紹介を実施
和歌山イコール会議	<ul style="list-style-type: none"> ★ 和歌山イコール会議4期（H28. 10～H29. 9）総会 会員51名出席。 <ul style="list-style-type: none"> ・全体計画及び部会・PT（プロジェクトチーム）での事業計画を承認、また、防災部会と防災PTを「防災部会」に統一することが報告された。また、PT活動を会則に明記する会則変更を承認した。

取組団体名	取組事例
和歌山イコール会議 (つづき)	<p>★ 総会記念講演会 約120人参加 *一般参加可 暴力防止部会が企画運営し、お二人の講師を迎え、国の取組の詳細な状況や加害者問題とその対応など加害者に視点をのこした内容とした結果、女性への暴力根絶に向けて新しい視点から詳しく学ぶ場となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1部 イコール会議活動トピックス報告 副代表 金川めぐみ ・第2部 女性に対する暴力の根絶に向けた講演会 <ul style="list-style-type: none"> 講演①「女性に対する暴力の根絶に向けた内閣府の取組（調査研究報告の概要を含む）について」 講師 橋本 太さん（内閣府男女共同参画局推進課 暴力対策推進室 課長補佐） 講演②「被害者と加害者」-DV・ストーカー・性暴力-対応のネクストステージ 講師 伊田 広行さん（DV加害者教育プログラムNOVO運営者、大学非常勤講師） <p>★ 熊本地震被災者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員会で支援を決定、避難所等のトイレ問題での支援をしないと、熊本県上益城郡御船町に防災部会で作成した「マイ・トイレ」500セットを配送（協力：高野山BBS会）した結果、特に夜間の子どものトイレ問題解消等で好評であったとの報告をいただいた。 <p>★ 部会・PT活動</p> <p>①地域づくり部会 男女共同参画による住みやすい地域をめざして活動した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015年に県内1,200人に実施した「地域課題についてのアンケート調査」結果から抽出された3つの柱に沿った活動の1つとして、「まずは和歌山の地域を知ろう！」を合言葉に、美山の藤棚ロードや和歌浦地域を訪問し、地元の女性の活動の様子や紀州語り部から地域の歴史を学んだ。 ・災害に強い地域づくりをめざし、防災部会、防災PTと連携し活動した。 <p>また、災害避難時等でも重要とされる日頃からの良好なご近所付き合いのために、スムーズなコミュニケーションを学ぶアサーティブ講座を開催した。</p> <p>「気持ちのいいご近所づきあいのためのアサーティブ講座」*一般参加可</p> <p>講師：水谷美香さん（NPO法人アサーティブジャパン認定講師）</p> <p>②防災部会・防災PT 災害時や復興時における男女共同参画による取組が進むことをめざし活動した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害と女性の問題を考えるきっかけづくりや災害時の県内女性ネットワーク構築にむけて、第2回目となる「防災セミナーin田辺」（3部構成、一般参加可）を地域づくり部会と連携し実施した。今回はジオパーク見学会を併せて実施、地震の地殻変動による断層なども見学した。 <p>「かけがえのない命を守るために～地震・津波に備えよう～」</p> <p>講師：前田 章次さん（西牟婁振興局総務県民課 防災・総務グループ）</p> <p>「マイ・トイレを作ってみよう！」</p> <p>講師：市場 美佐子さん（防災士、防災部会長）</p> <p>「日置志原海岸で渚ウォークと足湯」</p> <p>案内：会員（ジオパークガイド南紀熊野地域） 松場 三恵子・浜田 千佐子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海南市の協力依頼を受けて、災害時の男女共同参画にむけた「海南市防災士研修会」において、会員が講師となり災害時の調理体験のサポートを行った。 <p>「災害時のサバイバルクッキング体験と試食」</p> <p>講師：三國 和美さん（会員、栄養士グループNAGA会長） 調理サポート:部会員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本地震被災地支援の決定(役員会)を受けて、「マイ・トイレ」セット、500部を作成した。

取組団体名	取組事例
和歌山イコール会議 (つづき)	<p>③働き方部会 男女共同参画のもとに女性が活躍できる社会・職場をめざして活動した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事と介護の両立を支援するためのリーフレット『仕事と介護どちらも大切にしたい～おせっかい先輩からのおせっかいアドバイス～』おせっかいシリーズ第2作(介護編)を、3,000部制作し、関係先に配布した。 ・また、第1作目(子育て編)の継続配布と第3作目の作成に向けて取り組んだ。 <p>④子育て・介護環境部会 女性が専ら担うことが多い子育て・介護での男女共同参画をめざして活動した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護での負担軽減等に向けて、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に対する知識を深めた。同時に高齢者等へのハンドマッサージも学んだ。 ※一般参加可 「認知症サポーター養成講座」講師：島 由佳子さん(会員、認知症対応型デイサービス花代表) 「ハンドマッサージ Harmony∞」講師：吉田 智子さん(会員、セラピスト) ・働き方部会と連携し、仕事と介護の両立支援リーフレット作成・配布に取り組んだ。 <p>⑤暴力防止部会 女性に対する暴力の根絶をめざして活動した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌山マインの支援などに向けて「DV・ジェンダー」について、会員が講師となり改めて学んだ。 「DV・ジェンダー勉強会」講師：早稲田恵子さん(会員、和歌山市人権同和施策課指導員) ・和歌山イコール会議設立3周年記念特別講演会の企画・運営を行った。 ・DVやデートDV防止のための啓発を行うこととし、その手段と啓発グッズなどを検討した。 <p>⑥多様な生き方応援部会 多様な生き方や活躍を知り学ぶことによる女性のエンパワメントをめざし活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク活動として、第二の人生を歩む紀州語り部さんを講師に「身近な和歌山城の歴史を聞く」講座、また、白浜町に出向き女性アーティストの廣本直子さんを囲んでお話しを聞くなど、多様な生き方を学ぶ場を設けた。 ・障害者を支援する会員との出会いを契機に、障害についての正しい理解や障害者への対応を学ぶ「あいサポート運動」の講演会を開催し、様々な障害を持つ人へのサポートの周知を図った。 「あいサポート運動って?～障害のある方について知りたい～」※一般参加可 講師：秋月 清秀さん(県障害福祉課 計画調整班長) <p>⑦いいな和歌山PT 和歌山県のいいところ(各地の景観・暮らしの風習ほか)を知ってもらうことで、少しでも和歌山に定住する人が増え、男女が暮らしやすい地域となることをめざして活動した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規PTを立ち上げ、会員から「和歌山のいいところ」を募集した。 ・Facebookに新たなページ「和歌山イコール会議いいなプロジェクト」立ち上げ、4月末から2週間隔で「いいところ」の記事を掲載した。 <p>★ その他(参加・協力)</p> <p>【参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「徘徊～ママリン87歳の夏～」ドキュメンタリー映画(主催：和歌山県平和フォーラムほか) ・わかやまモデルを創ろう!～女性活性化プラン～大円卓会議(主催：BPW和歌山クラブ) ・「男女共同参画特別公開セミナー」(主催：和歌山県他) ・「和歌山県行政報告会/女性対象」(主催：和歌山県) ・「トップセミナーin和歌山市」(主催：和歌山県) ・「男女共同参画公開セミナーinかつらぎ町」(主催：和歌山県) <p>【協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「イクボス養成セミナー」(主催者：和歌山女性の活躍推進連携会議)※構成団体
和歌山県商工会女性部連合会	<p>★ 広報誌「りいぶる」を県下30商工会に配付し、各種講習会への参加を呼びかけた。</p> <p>★ 和歌山県女性会議に参画</p>

取組団体名	取組事例
和歌山県母と子の健康づくり運動協議会	<ul style="list-style-type: none"> ★ 母子保健指導者研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から子育て期の家庭への地域に根ざした支援に向けて、積極的に取り組むことができるボランティア（母子保健推進員）のスキルアップを図るために研修会を開催し、約260名の参加があった。 ・講演「『母と子』のこころの健康を守るために」 ★ 母子保健・健全育成住民会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・母子保健事業を活発に推進し、保健師・保育士・母子保健推進員など子育てを支援する職種や子育て中の一般住民等の参加による大会を開催し、約300名の参加があった。 ・展示パネルによる地域の母子保健推進員活動の紹介 ・地域での子育て支援の活動及び実践報告 「子育てに役立つ防災豆知識」 「5人の子育て奮闘中！職場で初めて育児短時間勤務を選択した男性医師の経験」 ・講演「子育て中の家族に寄り添う支援～地域でできること～」 ★ 各支部（振興局単位）における活動 <ul style="list-style-type: none"> ・母子保健に関する研修会 ・親子教室等の開催 ・家庭訪問等の活動時に子育て支援や子どもの病気、事故予防に関する啓発リーフレット等を配布
和歌山県生活学校連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ★ 地域で男女共同参画によるコミュニティづくりに取り組み、当協議会の目的に賛同する賛助会員（個人会員）の入会と新規校の開設に努める。 ★ 男女、親子をキーワードに環境、食の安全安心、食育に取り組み地域で支える子育て支援の推進を図る。 ★ 重点課題 <ul style="list-style-type: none"> ・「地産地消と食育で食の安全」 ・「地域や学校との子育て支援」 ・「3R（リデュース・リユース・リサイクル）の普及」 ・「レジ袋削減運動」 ・「かけがえのない命をまもる」 ★ 県大会開催 講演「食品ロス削減」について 講演後エコッキングレシビの試食会を行う ★ 研修会開催 <ul style="list-style-type: none"> ・講演「健康食品」について ・講演「悪徳商法」について ★ 食育体験講座開催 講演と調理実習 親（父母）と子、高齢者
和歌山県婦人団体連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ★ 子ども・地域・ふれあい事業 <ul style="list-style-type: none"> ・次世代に安心を送ることを目的に、地域で子どもを育て、まもる。サポートする会員自身が活動を通して、豊かな心を育む機会と場を提供するとし、28年度は2地区の婦人会で実施した。 ★ 心とからだの健康を考えるつどい <ul style="list-style-type: none"> ・元気で明るく、毎日健康的なライフスタイルを続けるため、生活習慣病などに対する正しい知識を身につける！をテーマに開催。心理カウンセラーの太田夏江氏から、「心と身体の健康～なくて七癖、こころ癖～」と題してお話をいただいた。 ★ 人権を考えるつどい <ul style="list-style-type: none"> ・人権問題について正しい認識をもち、私たちの日々の暮らしの中で起こる様々な問題について、女性の視点に立って考え、学び、地域の実状に即した人権学習の推進をはかろうと、落語家でお笑い福祉士の笑福亭学光氏による、「笑って笑ってお元気に」をテーマとした講演会を開催した。 ★ リーダー研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の推進と地域社会における様々な課題について認識を深め、ともに学び、ともに語り合う場としてリーダー研修会を開催。内容は、①健康教育講座 ②各事業の発表と報告 ③僧侶で音楽家、母であり一人の女性として輝き、新しい女性としての生き方をされている三浦明利住職のお話を拝聴した。

■ 第4章 県民の皆さんの取組状況 ■

取組団体名	取組事例
和歌山県生活研究グループ連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ★ 女性農業者の積極的な経営参画に向け、各地域でリーダー研修会や経営研究会等を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・加工技術向上研修会の開催 ・女性起業者の経営能力向上研修会等の開催 ★ 機関紙の発行（年1回） ★ 女性・高齢者グループ等の活動評価とPRのため、後援会等への積極的な参加 <ul style="list-style-type: none"> ・「むらとくらしを考える会議」 講演及び活動事例報告他 参加者 約150名
ITO☆WIN	<ul style="list-style-type: none"> ★ かつらぎ町WHP(かつらぎ町の女性による人権と平和を考える会)に参加 <ul style="list-style-type: none"> ・会議及び研修会：理事会、代表参加 ・研修会：花王石鹸、わかやま刑務所 ★ 男女共同参画公開セミナー 「あなた自身と家族本当に守れますか？男女双方の視点で総合防災力アップ」 <ul style="list-style-type: none"> ・講師：浅野幸子さん ・かつらぎ町福祉センター（会員参加） ★ 会員間お楽しみ交流（12月：年忘れの会） ★ 笠田公民館サークル発表会 <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画短歌展示（9/5から9/10） ★ 和歌山県男女共同参画審議会へ審議委員として参加（会員） ★ 総会・定例会（月1回 第4木曜日）開催 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報及び旬の出来事について討論する ≡≡≡講座：熊本地震を踏まえて（防災士による話と非常食（山菜ご飯、かやくご飯、缶詰パン。缶入りリッツ）の試食 ≡≡≡学習：平成28年2月開催の「みんなに男女共同参画」のアンケート結果まとめ、感想文 ≡≡≡講座：難民高校生仁藤夢乃、JKビジネスJKお散歩 ≡≡≡学習：橋本市男女共同参画基本計画 ≡≡≡講座：企画提案事業応募について（私の命は私のもの～DV性暴力を許さない）＊不採択でした。 ≡≡≡講座：ビデオ鑑賞「揺らぐ家族」 鑑賞後意見交換 ≡≡≡学習：会員文化を訪ねて 大和高田市と静御前 アメリカ村 ≡≡≡学習：Wi-Fiとは？ 橋本柿カレー 橋本オムレツ/高齢者サロン・地域の見守り員 ≡≡≡学習：虹色の性について 橋本市虹色フラッグLGBTに対する配慮 ≡≡≡学習：日本国憲法のお話 法テラス ≡≡≡学習：福島除染、廃炉。モラルハラスメント、忖度するの意味 <p>※会としてレジメ、議事録毎回発行（全員で情報共有）</p>